

令和 5 年度 指定管理者モニタリング評価シート

施設所管課名

教育総務部生涯学習課

1 施設概要

施設名称	生涯学習センター
指定管理者名	公益財団法人横須賀市生涯学習財団
指定期間	令和 4 年（2022年） 4 月 1 日～令和 9 年（2027年） 3 月31日（5 年間）

2 総合評価

・ 事業は計画に基づき、滞りなく進められた。

・ 事業の継続性についても問題は認められない。生涯学習センターは、社会教育施設に相当する施設であり、生涯学習活動の場や機会を提供する役割を持っている。そのため、有料貸館部分にみられる「ハード」の部分だけではなく、各種の講座のような質の高い「ソフト」の提供も求められ、市民大学講座は多くの受講生を集めている。また、講座企画を行う市民ボランティアの養成なども継続して行っており、人々の意識や意欲、行動変容などに働きかけ、生涯学習活動の推進、生涯学習社会実現につながる取組みを行っている。

3 管理実績評価

評価項目	評価内容	施設所管課評価	
		評価	特記事項
法令遵守	○関連する法令、条例等を遵守して業務が行われているか。	B	
	○個人情報の保護措置や情報公開制度の適正な運用が確保されているか。	B	
施設管理	○条例や協定書等に基づき、開館日・開館時間等を遵守しているか。	B	
	○条例や協定書等に基づき、適正な申請受付業務・使用許可業務が行われているか。	B	
	○条例や協定書等に基づき、使用料又は利用料金に係る手続が適正に行われているか。	B	
	○協定書等に基づき、施設及び設備の保守点検等が適切に行われているか。	B	
	○協定書等に基づき、施設の清掃業務が適切に行われているか。	—	複合施設のため、施設管理所管課が対応
	○協定書等に基づき、施設の警備業務が適切に行われているか。	—	複合施設のため、施設管理所管課が対応
	○協定書等に基づき、物品の管理が適切に行われているか。	B	
	○協定書等に基づき、施設等の修繕業務が適切に行われているか。	B	
	○協定書等に基づき、事業報告書等の書類が期限までに提出されているか。	B	

	○施設管理を行う中で生じた施設課題に適切に対応しているか。	B	
利用者への配慮	○利用者間のトラブルや不適切な施設利用者への対応が適切に行われているか。	B	
	○利用者からの意見を聴取し、業務改善に活用しているか。	B	
リスクへの対応	○事故や災害などの不測の事態への対応策が講じられているか。	B	
	○事故や災害などの発生時には、必要な措置を講じるとともに、速やかに市への報告がされているか。	B	
障害者、男女共同参画及び多様な性への配慮	○障害者の雇用や障害者就労施設等からの物品購入などの障害者への配慮がされているか。	B	
	○性別による差別のない雇用やワークライフバランスの実現に向けた取組など男女共同参画への配慮がされているか。	B	
	○多様な性に関する差別やハラスメントの禁止に関する内規の整備や多様な性に関する研修の受講、多様な性も考慮した福利厚生 の提供、顧客や取引先など外部に向けた環境整備やサービスの取組など多様な性への配慮がされているか。	B	
地域貢献	○地元人材の雇用が行われているか。	B	
	○市内中小企業等への発注が行われているか。	B	
	○市内の団体・施設・企業等との連携が行われているか。	B	
	○その他の地域貢献が行われているか。	B	
障害者雇用※ ※雇用義務のある団体（従業員を43.5人以上雇用している団体）のみ評価	○障害者雇用率が法定雇用率（2.3%）を達成しているか。	—	団体規模が基準以下
人員体制	○必要な人員が配置されているか。	B	
	○職員への研修等の人材育成は計画通りに実施されているか。	B	
	○人件費の設定は適切か。	B	

労働基準※ ※労働基準法上、作成又は届出義務のある団体のみ評価	○就業規則の労働基準監督署への届出がされているか。	B	
	○労働者に労働条件通知書を交付しているか。	B	
	○時間外・休日労働協定届（36協定届）の労働基準監督署への届出がされているか。	B	
	○社会保険や雇用保険に加入しているか。	B	
経費削減	○経費の削減の取組は行ったか。	B	
	○経費の削減分を活用して、市民サービスの向上などの取組を行ったか。	B	
（独自基準） 生涯学習を支援する「場」の提供	○市民の生涯学習支援を行うための場を提供する施設として、適切な取組みがなされているか。	A	独立行政法人国立病院機構久里浜医療センターの依存症患者向けに、退院後に再び依存症に陥らないよう、暮らしに生涯学習を採り入れることを勧める出張講座を行ったり、生涯学習を支援する人材育成のために社会教育実習生の受け入れを行っている。
	○他の機関等との連携や指定管理4事業間の連携による、生涯学習を支援する場の提供について適切な取組みがなされているか。	B	
（独自基準） 市民大学の講座企画	○横須賀市の市民大学としての考え方を踏まえ、より多くの人が参加できる適切な内容の講座を実施しているか。	A	適切なテーマ設定に加え、フィールドワークとして実地クルーズを採り入れるなど、市民が参加しなくなるようなひと工夫を加え、多くの受講者を集めている。

(独自基準) 市民大学の課題 対応に関する講 座、学びの継続	○課題対応について、受講者を多く取り込めるような講座展開の工夫がなされているか。また、受講者が単に講座を受講して終わりではなく、受講後も学びを継続したり、学んだことによりメリットを感じたりできる取組の工夫がなされているか。	B	
(独自基準) 学習情報・学習 相談	○市民が必要とする学習や文化に関する多様な情報の収集提供と生涯学習の相談に対するための適切な取組みがなされているか。	B	
(独自基準) 学習成果地域活 用	○学習成果を地域に活かすための適切な取組みが行われているか。	B	

評価	判定基準
A	協定書等※に定める水準を上回っている。
B	協定書等※に定める水準どおりである。
C	協定書等※に定める水準に達していない。

※協定書等…基本協定書、年度協定書、仕様書、募集（申請）要項及び事業計画書のことをいう。

4 収支状況評価

・市民の利用に供する有料貸館部分については、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う施設利用制限をきっかけとして利用者が減少し、利用料収入は減少していた。施設を利用する個人やサークル等の活動が低調となり、新型コロナウイルス感染症の状況が落ち着き、施設利用制限が大きく緩和されてからも活動が再開できなかったり、サークル等では解散をしたという話も聞いており、施設利用者の母数自体が減少してしまった可能性がある。令和5年度も新型コロナウイルス感染症の影響がなかった時期の利用者水準には戻ってはいないが、令和3、4、5年度の直近3年間を比べると少しずつ回復はしてきている。

・市民大学講座の受講者数は、新型コロナウイルス感染症の拡大以前と比べても多くの受講者を集めており、指定管理者の様々な努力や工夫が奏功したと考えられる。それに伴って受講料収入も増加した。

・現在、総合収支は黒字となっており、この傾向を今後も維持できれば安定的な管理運営が期待できる。